



秋田県こどもエコクラブ

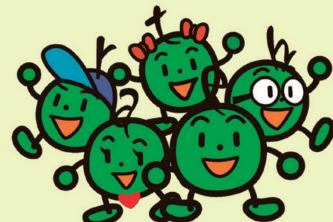


© 2015 秋田県んだッチ

活動報告集2023

こどもエコクラブは、幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。秋田県で40クラブ、3,923人のメンバーが登録し、環境に関わる活動を行いました。

この報告集は、各こどもエコクラブから今年度行った活動について報告をいただき、まとめたものです。報告には、みなさんの今後の活動の参考となるところがたくさんあります。これからの活動がさらに広く深くなるための手助けになれば幸いです。



活動紹介

1 十二所保育園エコクラブ(大館市)

幼児

本園では、地域のJAからいただいたヘチマの苗を大切に育てヘチマたわしを製作しています。自然エネルギー・天日干しでヘチマを乾燥させます。自然の恩恵に感謝し、掃除や教材用具を洗うときに活用しています。ヘチマたわしは煮沸消毒ができ衛生的で使い終わったら土に還すことができます。いつもお世話になっている地域の方へも勤労感謝の日にヘチマたわしをプレゼント。「SDGs14 海の豊かさを守ろう」プラスチック削減啓発促進活動につなげています。



2 にしたエコクラブ(大館市)

幼児

猛暑続きの畑から聞こえる？例年と違う様相もありましたが3mを優に超えたひまわりにはみんなびっくり。見上げるって結構疲れるものですね。以前「お空に届くみたい」と話してくれた子も今は小5に。

驚きや感動を大事にしながらか体験できるにしたでありたいです。

祖母母交流会。みんなで芋汁の1枚です。野菜は畑から。今回のヒットは里芋！滑らかなくちどけ。中太サツマは甘みがありおかわりラッシュ。駆け回りながらのお世話活動がこんなに美味しいひと時になりましたね。自然と共に一生懸命で笑顔満載。



3 東館保育園こどもエコクラブ(大館市)

幼児

春、畑の大先輩であるおじいちゃん・おばあちゃんの力を借り、さつまいもの苗植えをしました。水撒きや草取りの世話、猛暑の夏を過ごして、秋にはスタイル抜群なさつまいもをみんなで収穫することができました。今年は子どもたちでおいしく食べようと“くまちゃんスイートポテト”づくりを計画。初クッキングに期待を膨らませ、コネコネペタペタ丸めてオリジナルくまちゃんを1人1個つくりました。とても大好評。

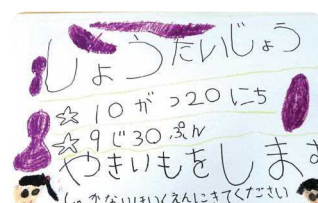
大量に残るツルで、クリスマスリースづくり。園内の雰囲気づくりに活躍しています。



4 釈迦内エコクラブ(大館市)

幼児

園周辺には大きな畑がないので、バスに乗りシルバーエリアの畑をお借りしてさつまいもの苗植えをしました。離れた場所なので毎日観察はできませんが、収穫に訪れた時は土の中の芋の大きさや量を想像しながら土を掘りました。一本のつるに5~6本連なっているのを友達同士で比べっこ。収穫した芋は地域の方や地域のこども園の友達と一緒にやきいもを味わいました。自分たちで育てたものを食べる喜びを味わうことができました。



「楽しみに待っててね」思いを込めて自分たちでつくった招待状



おいしくな一れ おおきくな一れ



「ほかほか」「あっち〜」「うまい!」

5 こひつじっこクラブ (秋田市)

幼児

3～5歳児44名の子どもたちで活動しているこひつじっこクラブ！今年で5年目になります。お気に入りのエコクラブのパンダナを巻いて、園周辺のごみ拾いなどのお掃除活動を頑張っています。野菜作りやクッキングも子どもたちが大好きな活動です。給食後に捨てるみかんの皮を活用して、みかん風呂で足湯体験をしました。足がぽかぽかしてくると自然とにこにこ笑顔になって、心も体もぽかぽかの様子の子どもたちでした。これから子どもたちとエコについて考え話し合う機会を大切にしながらエコに関する様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。



6 ガン・パティオこども園 (秋田市)

幼児

環境学習の一環として、秋田市仁別地区で自然体験活動をお泊り会行事と兼ねて実施しました。7月の豪雨災害の雨の直前の実施で、半日遅ければ宿泊先のまんだらめから帰れなかったかもしれませんでした。それでも、大雨が降り出す前に大半のプログラムを終えたので、子どもたちは自然の壮大さを感じ、また自然に浸り、関わることでたくさんの学びがありました。お世話になったまんだらめ、東北森林管理局他の皆さんに感謝します。



7 7-アグリー土崎わくわくクラブ (秋田市)

幼児

3～5歳児クラスの子どもたちで活動しています。畑作りでは植えたい野菜を話し合いで決めて植え、水やりや草取りをする他、看板作りやカラス除けの案山子作りもします。収穫後クッキングも行い、採れたての野菜のおいしさを味わいます。その他、園周辺の公園でのごみ拾いも行っています。

ごみ拾い後は「きれいになったね」「きもちいいね」という声が聞こえてきます。これからも子どもたちと話し合い考えながらエコ活動を行っていききたいと思っています。



8 成章SDGsクラブ (大館市)

小学生

本校では、全校児童66名が、「成章かがやきプロジェクト2023」に取り組んでいます。枝豆栽培を通して、地域とつながり、地域の環境への意識を高めています。3～6年生が3つのプロジェクトチームに分かれて、主に総合的な学習の時間に活動します。今年は、全校で育てた枝豆を材料にしたスイーツを開発し、「枝豆プリン」と「ずんだ団子」を商品化しました。地域のお店の方々の協力を得て、美味しいスイーツができました。これからも、SDGsを意識した活動に取り組んでいきます。



9 にしとこ子クラブ (大館市)

環境教育支援校

小学生

本校は校庭が広く、学校の裏手にはトンビがいる林や水芭蕉が咲く湿地があるなど自然に恵まれています。おかげでいろいろな種類の昆虫たちがいて、休み時間には虫探しを楽しむ子どもたちが多くいます。今年度は、トンボの卵を孵化させてヤゴの赤ちゃんを観察したり、ヤゴのために水たまりにいるアカムシを探して食べさせたりと、とても貴重な体験ができました。そして、羽化したヤゴを空に放ったとき、関わった子どもたちの笑顔は最高に輝いていました。



羽化したトンボを観察中です

虫探しに夢中です

10 花岡小学校 チャレンジエコクラブ (大館市)

小学生

花岡小アルミ缶集めプロジェクトX

全学年で力を合わせて活動するふるさとキャリア教育。本校のテーマは「勇気・つながり・チャレンジ」。子ども同士がつながり、地域とつながり、自分達がやるべき事を見極めて自主的に進める活動として、6月に行ったチャレンジ活動は地域を元気にする目的でミニ運動会として実施されました。

そして3年生を先頭に通年で取り組むアルミ缶回収も地域を巻き込んで行われています。この秋、実施されたのは各学級対抗アルミ缶集め競争。競って集めただけあって、160kgという過去最高の回収量となりました。



これまでで最高の回収量

業者の方と積み方作業

11 ありうらエコクラブ (大館市)

環境教育支援校

小学生

ボランティア委員会を中心にリサイクル活動や環境美化活動に取り組み、ブルタブやペットボトルキャップ、空き缶回収を全校に呼びかけています。今年は毎週月、水曜日を「ゴールドスクールデー」とし、全校のごみを集める活動を始めました。

5年生は、総合的な学習の時間にSDGsについて学習し、学区内に見られるSDGsを探しに行きました。その中でも、新しくなったJR大館駅には、どんな人でもわかりやすいピクトグラムや多目的トイレがあり、人や環境に優しい造りになっていることに気がきました。



ゴールドスクールデーの様子



大館駅でのSDGs探し

12 いちおもてエコクラブ (秋田市)

小学生

私たちは平成12年から秋田市広面を主として、月に1回、自然観察やごみ拾いなどを行いながら楽しく環境を学び、環境を守る活動をしています。今年は9人の仲間たちで、里山探索やごみ拾い、アメリカザリガニの駆除、ごみの分別の勉強などを行いました。身近な水路で、光り飛ぶホタルの観察をすることもできました。しかし、7月の大雨で、私たちの広面地区は洪水で大きな被害を受け、たくさんのごみも流れてきました。そのような様子もまとめた壁新聞も作りました。



アメリカザリガニを釣って駆除しました



森林の自然環境を勉強しました

13 イオン土崎港チアーズクラブ (秋田市)

小学生

私たちは小学校3年生～6年生の3名で活動しています。今年度は秋田市の出前講座で、再生可能エネルギーの重要性を学習し太陽光発電等の体験をしました。また向浜のナチュラリエナジー・ジャパンを見学に行き、バイオガス発電について学習しました。工場にはスーパー等からの廃棄野菜がたくさんあり、それをメタン発酵させバイオガス発電をしていました。地球温暖化を食い止めるため、再生可能エネルギーが今後もっと増えていくといいなと思います。



14 井川義務教育学校自然観察クラブ (井川町)

小学生

今年度も地域の先生に協力していただきながら、「国花苑の植物観察」「竹とんぼ作り」「井川の水质調査」など、自然と触れ合う体験を行うことができました。子どもたちからは、「身の回りにある植物に詳しくなれた」「竹を削るのが初めてで難しかったけれど楽しかった」などの声が聞かれました。これからも、ふるさと井川の自然を大切にしていけるよう、子どもたちの活動をサポートしていきたいと思います。



国花苑での植物観察



竹とんぼ作り

15 西目シーガルエコクラブ (由利本荘市)

小学生

本校では、生活科や総合的な学習の時間を中心に、SDGsに関連付けた学習を進めています。今年度は、6年生が、秋田県立大学の境准教授による「海洋プラスチック問題から考える持続可能な社会」というテーマで「海のセミナー」を行いました。また、イラスト・クラフトクラブでは、海ごみのプイにイラストを描き、環境保全のメッセージを地域に発信しました。西目海岸クリーンアップのボランティア活動に参加する児童も増えています。



プイのキャンバスにイラストを



積極的に参加した海のセミナー

16 中仙小学校 (大仙市)

環境教育支援校

小学生

本校では、総合的な学習の時間に、SDGsに関連した取組を行っています。4年生は、浄水場の見学を通して、近くを流れる斉内川と水道の水質について調べました。5年生は、田植えや稲刈り体験を通して、自然や地域の方への感謝を込めておにぎり作りをしました。6年生は、震災遺構である荒浜小学校の見学を通して、ふるさとに対する思いにふれました。また、SDGs委員会の取組として、募金活動や校内環境の美化、SDGsの周知活動を行っています。



6年生震災遺構見学



4年生水質検査



5年生田植え体験

17 角間川小学校エコクラブ (大仙市)

小学生

本校では、全校71名が自然に親しみ、身近な環境を守る活動に取り組んでいます。全校で学校花壇やサツマイモ畑、緑のカーテンの植物栽培活動を行いました。緑のカーテンの朝顔は大きく育ちました。エコ委員会では、エコキャンペーンとしてアルミ缶回収を呼びかけ、協力してくれた友だちには、その朝顔の種をプレゼントしました。全校集会で紹介したエコクイズも好評でした。今年度は、地域の小中学校と一緒に、近くの親水公園クリーンアップ活動も行うことができました。活動が広がっているのを感じています。



学校花壇に、ジニアやマリーゴールドを植え、お世話しました



小中学校合同でのクリーンアップ活動です

18 横堀小学校エコクラブ (大仙市)

小学生

本校では、総合的な学習で「ふるさとの魅力に気付く体験活動」を実施しています。5年生では田植えや稲刈りに加え、学校田の生き物・植物調査を行い、様々な生き物がいることに驚いた様子でした。また、田んぼやその周辺で見つけた生き物や植物について、地域の方からミニ図鑑を基にその特徴について教えていただく活動もあり田んぼには様々な動植物が生息していることを学びました。



生き物の観察



生き物探し

19 神代小学校エコクラブ (仙北市)

小学生

今年度も、全校児童136名が「花のいのちを育む活動」に取り組みました。全校から花壇のデザインを募集し、縦割り班で種から育て、きれいな花をさかせました。プランターにはマリーゴールドの花を育てました。3年生は、種から大根を育てて「いぶりがっこ」を作りました。5年生は「米作り」、6年生は「田んぼアート」や「ジャンボひまわり」を地域の方々と協力して取り組みました。また、地域の施設に花を届ける活動やSDGsの取り組みとして自分達にできるエコ活動について話し合い、取り組んでいます。



お花の世話 (夏休み)



きれいなお花を届けよう



みんなで花植え

20 横手南小学校 (横手市)

小学生

本校では、全校児童で一人一鉢運動を行っています。1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がペアになってペゴニアの苗を鉢に植えました。学年で交流しながらの楽しい活動です。今年は、猛暑のため育てるのが難しかったです。6年生は横手川の自然を学びました。美土里ネットの皆さんが来校し、横手川に住む生き物たちや絶滅危惧種などについて紹介してくれました。



ペゴニアの鉢植え作業



横手川にすむ生き物調査

21 雄物川小学校 (横手市)

小学生

本校では毎年、環境・ボランティア委員会が中心となり、全校児童でアルミ缶・プラタブ回収と花壇整備に取り組んでいます。今年度も、月に1回程度玄関ホールで回収を行い、委員会の時間にアルミ缶の圧縮や呼びかけ用のポスター制作を行いました。収益金を活用して、車椅子等を購入し、年度末に社会福祉協議会を通じて地域の福祉施設に贈る予定です。また、花壇への水やりや草取り、校内外の清掃を定期的に行い学校の美化に協力することができました。



アルミ缶プラタブ回収の様子



プランター植樹の様子

22 醍醐小学校キラリエコクラブ (横手市)

小学生

リンゴの里で有名な醍醐小学校のキラリエコクラブです。本校では、コミュニティ・スクールの活動の一環として資源回収を行っています。今年度も8月の日曜日に、PTAと小学生、地域住民、中学生ボランティアが一体となって取組み、再生できる資源をたくさん集めました。また、児童会が中心となり、毎週金曜日にアルミ缶のリサイクルを行い、その収益金を地域の老人福祉施設へ贈ることで、施設が車いすを購入するお手伝いをさせていただきます。



“アルミ金曜日”にアルミ缶の回収活動を行い回収物の重さを計測している環境委員会の児童



コミュニティ・スクールの取組として行った資源回収
地域と一体になって実施

23 浅舞小学校たいよこエコクラブ (横手市) 小学生

地域環境への関心を高め、地域づくりに積極的に関わっていくことをねらい、全校児童で、ひまわり栽培を核とした「ひまわりプロジェクト」に取り組みました。今年はこれまでの失敗を踏まえ、育苗ポットで苗を育ててから畑に植え付けました。保育園や地域団体等にも協力いただき、栽培し種を収穫しました。また、PTA活動でもあるアルミ缶回収にも取り組み、6年生が集まった缶を整理し回収業者へ納めることができました。地域との連携を深められた気がします。



アルミ缶プルタブ回収の様子



ひまわりプロジェクト

24 大雄っ子エコクラブ (横手市) 小学生

環境教育支援校

本校では、総合的な学習の時間で、「飛び出せ！大雄っ子活動」を行っています。4年生は地域特産のホップ栽培に取り組み、グリーンカーテンの効果を確かめました。4・5年生は、あきたこまちの田植えと稲刈りを体験しました。6年生は、横手の発酵文化について調べ、味噌づくりに取り組みました。今年も地域の産業や食文化に触れながら、身近な食べ物に関心を深め、地域や自然を大切にできる心が育っています。



4・5年生稲刈り体験



6年生味噌づくり

25 秋田南高校中部自然科学部 (秋田市) 中学生

環境教育支援校

自然科学部では、「学校周辺の植物の色素を調べる研究」「猿田川の微生物の出現についての研究」「人にも環境にも優しい石けんづくり」をテーマとして活動しました。石けんは「化学物質無添加・無香料」を目指して作りました。石けんで洗った後は、しっかりとした感じはありましたが、香りの調整が難しかったです。学校祭では、ポスターや石けんの展示と、手作りの微生物カードを準備して来場者に関心をもってもらえるようにしました。



植物の色素の抽出



人や環境に優しい石けん

26 男鹿東中学校 (男鹿市) 中学生

環境教育支援校

私たちは毎年、「地域貢献活動」という活動を行っています。今年度は「地域の一員として、地域をよりよくしようとする態度を養う」「地域の方々と関わる活動を通して、人や事物と関わって学ぶことのよさを実感できるようにする」という目標の基、全校生徒289名が6か所に分かれ、海岸清掃活動などを行いました。生徒からは「ごみのポイ捨てをなくしたい」「プラスチックごみは海の生物にとって大変だから、絶対に捨ててはいけない」といった感想が聞かれました。



地域の方と一緒に
海岸清掃に取り組みました



道路端のごみを拾っています

27 湯沢南中学校自然科学部 (横手市) 中学生

今年もヒョウタンとフウセンカズラの緑のカーテンを作り、収穫した種を学校祭でプレゼントしました。ヒョウタンが人気で、用意した150袋が全てなくなりました。今年は、春先に天候不順だったため、種子の発芽が遅れました。その結果、花が咲く時期が遅れ、実の収穫量が減りました。同じ事が山でも起きていて、食料が減ったため、クマが人間の生活域に出没するようになったのかもしれない。温暖化対策の必要性を感じました。



ヒョウタンの花



緑のカーテン

28 稲川中学校 (湯沢市) 中学生

環境教育支援校

本校では、全校(139名)で縦割りのグループをつくり、地域活性化に向けた「iNAゼミ」という活動を進めています。毎年、地域の特産を使った商品を10品程度考え、地元企業とコラボして販売しています。商品にならないねぎや枝豆、りんご、稲庭うどんを使ったSDGsを意識した商品もあります。どの商品も地域の方々に好評です。例年、11月下旬に販売会を実施しているのでは是非ご購入ください。



ねぎの収穫



学校祭での販売会

29

新屋高校理科学研究部 (秋田市)

環境教育支援校

高校生

秋田市大森山動物園や本校付近のため池で、在来種保全や外来種駆除に継続的に取り組んでいます。今年度は、駆除したアメリカザリガニの肥料化に成功し、特に葉野菜で大きな成果を得ることができました。今後は、「アメザリ肥料」を用いて有機農地が拡大できるよう、模索していきます！

その他、地域の植物である「ハマボウフウ」を育てたり、水環境について学ぶ「モグリウム」を設置したり等と様々な活動にも精力的に取り組んでいます。



アメザリ肥料の成果



モグリウム設置



連携機関と生態調査

30

天王みどり学園高等部アグリガービス班 (秋田市)

環境教育支援校

高校生

働く力や地域貢献することの大切さを学習しました。学校創立20周年を記念し、花壇に「20」の花文字を作っておいしくしました。また、潟上市内の施設にプランターをプレゼントする活動も継続して行っています。畑ではさつまいも掘りを通して幼稚園や本校小学部との交流、中学部の大豆栽培への協力、栽培したトマトやラベンダーを他の作業班が作業学習製品にするなど、協力して活動しました。



さつまいも収穫 (小学部交流)



花文字と花壇の手入れ

31

比内支援学校たかのす校 (北秋田市)

混合

今年度は、小・中・高合わせて44人で活動しています。地域で唯一の学校として、地域を元気にできるよう、清掃や除草、除雪のボランティア活動を行っています。また、地域の皆さんが気持ちよく来校していただけるよう、中学部と高等部が合同で地域のお寺や公民館、お一人暮らしのお宅などの除草活動を行いました。小学部では毎朝校内の清掃に取り組んだほか、学園祭に向けお客さんのために玄関やスリッパをきれいにしました。また、PTAでは数年ぶりに地元の花火大会の後に清掃を行い、親子で汗を流しました。



32

イオン秋田中央チアースクラブ (秋田市)

混合

今年も新入社員との交流で店周りの清掃と「じゅんさい摘み取り体験」をしました。チアース活動を知ってもらうキッカケになったと思います。白神山地植樹体験では、山に着いてから天候が悪くなり2~3本植えたところで中止になり、メンバーは不完全燃焼で終わったようです。体験型はメンバーも楽しんで学んでいるので、今後の活動に活かしたいと思います。



じゅんさい摘み取り体験



白神山地植樹体験

33

あきを緑の少年団 (秋田市)

混合

いつものように活動ができるようになり、いっぱい自然と触れ合い、体を動かし、たくさんの人達と一緒に活動できました。その中から3つを紹介します。

1. 6月18日、百宅と法体の滝…雨模様でしたが、鳥海ダムに沈む村や滝の水がどこから流れてきたのか解説をしてもらっていました。



鳥海山7合目付近

2. 7月28日、岩手県少年団大会に参加しました。南部アカマツの下で昼食をとり、葉っぱから木を探すフィールドワークや木工で家の形の貯金箱を作りました。



百宅地区

3. 9月は鳥海山の途中まで登りました。ちょっときつかったけど達成感がありました。登山の面白さを体験できました。



葉っぱから木を探す

34

大曲支援学校 (大仙市)

環境教育支援校

混合

7月、全校児童生徒116名と地域の方々35名が参加し、小学部は雄物川河川敷、中学部は花火通り商店街周辺、高等部は学校周辺に分かれて清掃活動をしました。たばこの吸い殻や空き缶、防虫ネット、プラスチック破片など、全部で36.5kgのごみを集めました。「ごみがなく、きれいになってうれしかったです」と話す児童生徒も多く、引き続き地域への感謝の気持ちを込めて清掃活動に取り組んでいきたいと思っています。



「環境教育」に関する秋田県の主な事業

★各事業の詳細はWeb検索から！



秋田県 温暖化対策課 環境教育

検索

こどもエコクラブ支援事業	こどもエコクラブの登録、活動、コンクールの参加等を支援するほか、新規会員に対し秋田県オリジナルパンダナの提供や、こどもエコクラブ全国フェスティバル受賞メンバーの旅費の負担をします。登録用紙をこどもエコクラブ全国事務局に提出することにより参加でき、登録・年会費等は無料です。
環境教育支援校	全県から応募のあった小・中学校、義務教育学校、高校及び特別支援学校から10校程度を環境教育支援校として指定し、環境教育に必要な器具類を3万円程度まで無償提供します。
観察・実験器具の貸出	環境に関する学習で活用できる観察・実験器具等を貸し出します。貸し出しにかかる費用は、送料等を除き無料です。随時受け付けています。
あきた環境学習応援隊	環境教育に関する講師の派遣や教材の提供、環境学習会や施設見学の受け入れなどを行っている企業や団体、20事業所等を県Webサイト (https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/36470) で紹介しています。見学等は企業等にご連絡ください。
地域の環境活動支援事業 (環境の達人派遣)	市町村、学校及び住民団体等が主催する講演会や学習会等に、環境保全団体・環境保全に関する講師を無料で派遣します。理科や社会科、総合的な学習の時間の授業等の場面でもご活用できます。環境あきた県民フォーラムにお申し込みください。(TEL:018-853-6755)
環境大賞	団体・学校や教育関係機関・個人で行っている、他の模範となる環境保全活動を知事表彰しています。毎年5～6月に案件を募集し、受賞者は県Webサイト等で紹介します。
あきたエコフェス	ステージイベント、出展ブース、体験コーナー等で、楽しみながら環境やエコについて学ぶことができます。是非会場に足をお運びください。ブース出展については、県温暖化対策課にご相談ください。
環境あきた県民塾	環境保全活動に関わる知識や技能について学ぶことができる塾を毎年開講しています。塾では、座学だけでなく、自然観察や施設見学などの体験学習を含めたプログラムを提供しています。
ECOコン	ナッジ理論を活用した地球にやさしいアイデアを募集するため、大学生などの若者を対象とした「CO2削減に関するアイデア実践コンテスト(通称「ECOコン」)」を実施しています。
SDGsに係る講師派遣	秋田県内の学校等で実施する環境学習に講師を派遣します。気候変動や食品ロスなどの生活に関わる様々な環境問題に焦点を当て、SDGsとの関連性や目標達成に向けた取組について学び考える授業を行います。

あきたエコフェス (2023.9.2・3)



会場全体



あきエコ講演会



超神ネイガーのエコクイズ

環境大賞 (2023.9.2)



表彰式

ECOコン (2024.2.5)



審査会



受賞者



受賞者

全国エコ活コンクール応募作品紹介（壁新聞部門）

全国の子どもエコクラブや、環境活動をしている子どもたちのグループ、個人が全国の人にエコ活動の成果や感じたこと・気づいたことを壁新聞や絵日記にまとめて伝える「全国エコ活コンクール」。コンクールは3月に開催され、県ではクラブの全国大会参加費を支援しています。今年応募の県内壁新聞です。

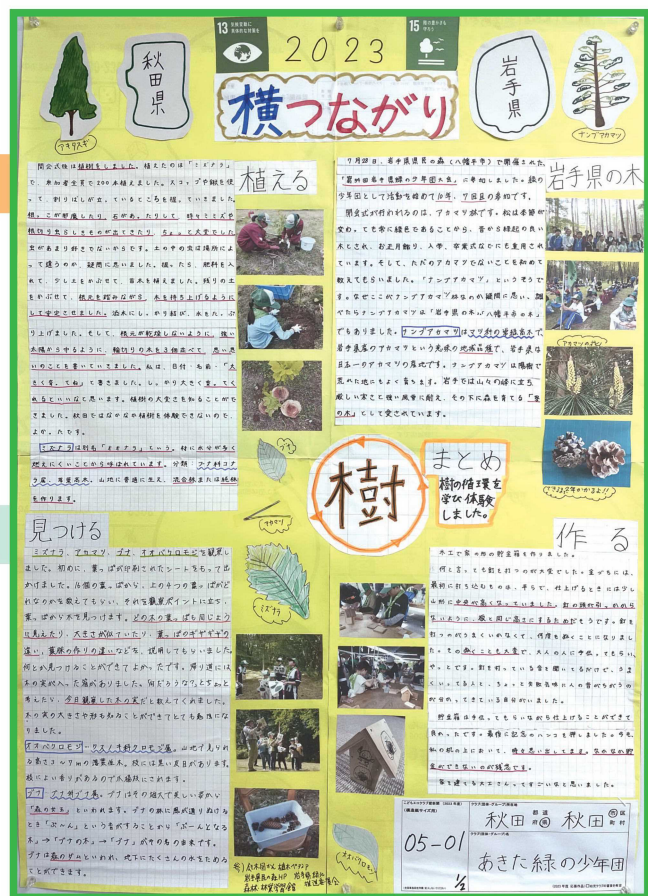
あきた緑の少年団

子どもたちからのアピールポイント

貯金箱作りで楽しかったことは、くぎを打つことです。なぜかという「カンッ」という音がして気持ちよかったです。バスで移動するのが楽しかった。友達と話したのが楽しかった。木を植えるときに、みんなで思いを込めてメッセージを書きました。大きく育つといいなと思います。

サポーターからのメッセージ

たくさん活動をしました。一番多く参加者がいたので、岩手での活動をまとめてみました。中学3年生も参加し、リーダーシップを発揮。また、力仕事をお任せできるようになって助かりました。いつもと同じパターンですが、あちこちに工夫がありました。行政との連携がうまくいっているのが、安心して参加できます。貯金箱を使っているお子さんが多くいたのうれしいです。



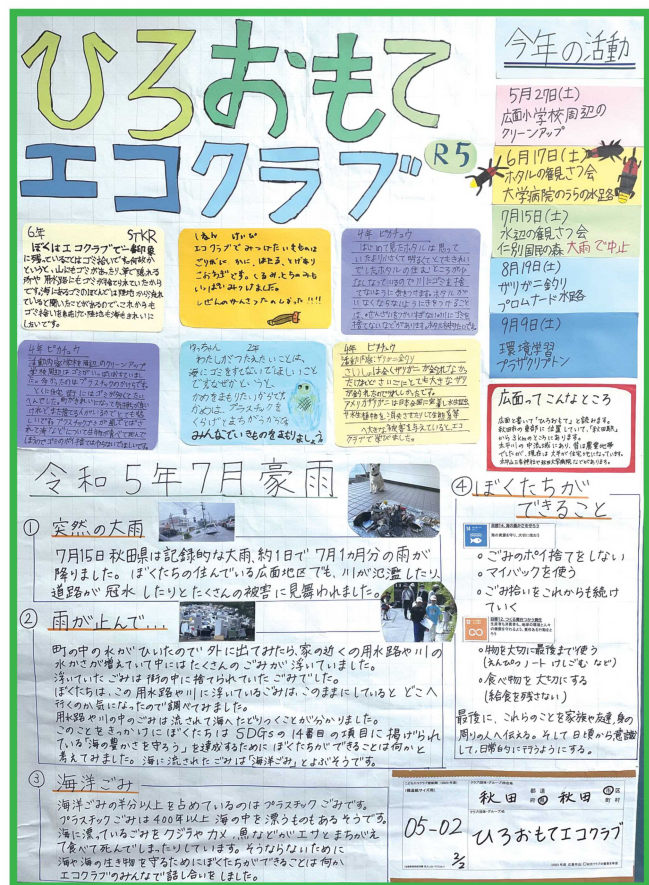
ひろおもてエコクラブ

子どもたちからのアピールポイント

私たちのクラブでは、山に行ったり、ホテルを見たり、川の中に入って、川の中の生き物を観察したりします。さらに、環境を守るために、年に数回ごみ拾いをします。今年は、大雨で川に行けませんでした。その事を生かして大雨による川や海への影響や、そのために出来る事、SDGsとの関係をまとめました。

サポーターからのメッセージ

ここ数年は活動が制限されることもありましたが、やっと気兼ねなく動けるようになってきました。そんな中の7月の活動日、車で一時間程の山間部の川での水生生物の観察の日、一番楽しみにしていたプログラム。まさにその日に私たちの地域に水害が起きました。前日から大雨予報があったので活動は中止としたため事故はありませんでしたが、その体験から感じたことを新聞にまとめました。きっと、その気づき、今後の成長につながると思います。



全国エコ活コンクール応募作品紹介(デジタル部門)

新屋高校理科研究部

クラブ活動のアピールポイント

私たちは、在来水生生物の保全活動を中心に活動しております。春から秋にかけて、本校近くにある秋田市大森山動物園を週一回訪問し、モニタリング調査や外来生物の駆除活動を行っております。動物園の塩曳潟は、ゼニタナゴやシナイモツゴ、キタノアカヒレタビラなどの希少種が存在する世界的にみても貴重なホットスポットになっており、秋田市大森山動物園やNPO法人秋田水生生物保全協会と協力・連携して保全活動に取り組んでいます。保全活動する際、在来生物を脅かす外来生物(アメリカザリガニやウシガエル)の駆除が必要となります。今までは、動物園で飼料として給餌していましたが、付加価値をつけることはできないかと、昨年度より肥料化プロジェクトにも取り組んでいます。今年度は、葉野菜に与える素晴らしい効果を確認出来ました。今後は、何が成長促進に繋がっているのか、適正施肥量はどの程度なのかなど、検討していきたいと考えております。



こどもエコクラブのつくり方



仲間を集める

2人以上の
仲間を集めます

サポーターを決める

クラブ活動を
支えてくれる大人
(20歳以上)の
サポーターを決めます。

登録する

こどもエコクラブ
全国事務局に届ければ
クラブとして
登録されます。

こどもエコクラブに入ると…

- メンバーズバッジ
(新規クラブと継続クラブの
新規メンバー対象)



(イメージ)

- メンバー手帳
(1部100円で頒布)



- ぼくの／わたしのエコカード
(幼児対象)

などがもらえます!

他にも…

- 活動が充実する情報が届く!
(メール等で配信)
- 活動を報告すると、環境に詳しい先生
からアドバイスがもらえる!
- 活動をまとめた壁新聞を作ると、全国の
仲間が集まる全国フェスティバルに参加
できるチャンスが!





令和5年度 登録クラブ一覧

ストップ・ザ・温暖化あきた
マスコットキャラクター「あずびー」

40クラブ 3,923名

幼児クラブ		19 神代小学校エコクラブ(136名)	仙北市
1 十二所保育園エコクラブ(21名)	大館市	20 横手南小学校(506名)	横手市
2 にしたてエコクラブ(30名)	大館市	21 雄物川小学校(330名)	横手市
3 東館保育園こどもエコクラブ(18名)	大館市	22 醍醐小学校キラリエコクラブ(120名)	横手市
4 釈迦内エコクラブ(47名)	大館市	23 浅舞小学校たいよっこエコクラブ(242名)	横手市
5 こひつじっこクラブ(44名)	秋田市	24 大雄っ子エコクラブ(147名)	横手市
6 サン・パティオこども園(21名)	秋田市	中学生クラブ	
7 ナーサリ土崎わくわくクラブ(73名)	秋田市	25 秋田南高校中等部自然科学(22名)	秋田市
せいれいエコクラブ(80名)	秋田市	秋田大学教育文化部附属中学校 情報・科学部(46名)	秋田市
どれみ保育園エコクラブ(18名)	大仙市	26 男鹿東中学校(289名)	男鹿市
小学生クラブ		27 湯沢南中学校自然科学部(16名)	湯沢市
8 成章 SDGs クラブ(66名)	大館市	28 稲川中学校(139名)	湯沢市
9 にしたてっ子クラブ(71名)	大館市	高校生クラブ	
10 花岡小学校 チャレンジエコクラブ(45名)	大館市	29 新屋高校理科学研究部(10名)	秋田市
11 ありうらエコクラブ(488名)	大館市	30 天王みどり学園高等部アグリサービス班(9名)	秋田市
12 ひろおもてエコクラブ(12名)	秋田市	秋田南高校自然科学部(10名)	秋田市
13 イオン土崎港チアーズクラブ(3名)	秋田市	異年齢混合クラブ	
14 井川義務教育学校自然観察クラブ(10名)	井川町	31 比内支援学校たかのす校(44名)	北秋田市
15 西目シーガルエコクラブ(226名)	由利本荘市	32 イオン秋田中央チアーズクラブ(12名)	秋田市
平沢小学校(281名)	にかほ市	33 あきた緑の少年団(31名)	秋田市
16 中仙小学校(143名)	大仙市	わくわくエコ工房(3名)	秋田市
17 角間川小学校エコクラブ(71名)	大仙市	34 大曲支援学校(26名)	大仙市
18 横堀小学校エコクラブ(17名)	大仙市	※クラブの番号は、「活動紹介」の番号と対応	

発行

秋田県生活環境部温暖化対策課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1
TEL: 018-860-1560
E-mail: en-ondanka@pref.akita.lg.jp



こどもエコクラブ
イメージキャラクター「エコまる」

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



この冊子は1,000部印刷し、1部63.36円です。